



か  
し  
い  
か  
え  
ん  
に  
咲  
く  
ポ  
ー  
チ  
ユ  
ラ  
カ

区役所代表電話 ☎631-2131

ホームページ 福岡市東区  検索

**東区データ**  
**人口** 325,322人(+225)  
 男 157,890人 / 女 167,432人  
**世帯数** 158,146 世帯(+133)  
 令和3年8月1日現在推計(前月比)

☎=日時、期間 ☑=場所 ☒=対象 ☓=定員 ☙=料金、費用 ☚=申し込み ☛=問い合わせ ☜=ファクス ☝=メール ☞=ホームページ ☟=託児 ☠=持参 ☡=受付時間

新たに開設したホームページ



東区認知症オレンジちゃんねる  検索



スマートフォン等で左のコードを読み取ってアクセスすることもできます

認知症への理解を深めよう

誰もが安心して暮らせるまちへ

認知症は誰にでも起こり得る脳の病気です。2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症になるといわれています。市内で最多の約7万人の高齢者が暮らす東区では、認知症に優しいまちを目指して、さまざまな取り組みを行っています。

東区認知症オレンジちゃんねるを開設

認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、家族や地域など、周囲の協力が必要です。区は、対面での相談がしづらいコロナ禍でも、必要な人が認知症に関する

情報にいつでもアクセスできるような、医療・介護の専門家や地域、大学等と協力し、区ホームページに「東区認知症オレンジちゃんねる」を開設しました。同ホームページでは、本人・家族・地域向けなど対象者ごとに情報を整理し、それぞれが知っているに役立つ認知症に関する情報や利用できる行政サービスなどを紹介しています。

また、認知症の人の家族の体験談や専門家からのアドバイスのほか、認知症の人に接する際のポイントなどを学べる動画も掲載しています。ぜひ活用ください。9/5)まで。



九州産業大学の学生が作成した東区認知症オレンジちゃんねるのマスコット「ちかっば」

大学生を対象とした講座なども開催

高齢化が進む中、認知症の人を支えるには、家族や地域だけでなく、若い世代の力も必要です。区は、認知症の人への対応力を高めるために校区で行っている「認知症声掛け訓練」に加え、今年度、若い世代の皆さんの認知症への理解を深めてもらうと、大学生を対象とした「認知症サポーター養成講座」なども開催します。区の認知症に関する取り組みについて、詳しくは、区地域保健福祉課(☎645・1087 ☎631・2295)まで。

3日分以上の備蓄をしましょう

市は、「防災の日」の9月1日から1週間を「備蓄促進ウィーク」と定めています。災害発生直後は、水道や電気などのライフラインが途絶えることがあります。万が一に備え、下記を参考に、各家庭で3日分以上を備蓄しましょう。

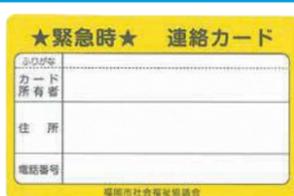


- 生活物資 衣類、トイレトペーパー、救急セット、マスク、体温計、消毒液など
  - 飲料水 1人1日3リットル
  - 食料 保存食や缶詰、スナック類など加熱の必要がないものが便利です
  - その他 懐中電灯や乾電池、ラジオ、ライター、携帯充電器など
- 高齢者や障がい者、乳幼児など特に配慮が必要な人がいる場合は、紙おむつ、粉ミルク、アレルギー対応食品、普段から服用している薬なども備えておきましょう。

☎区総務課 ☎645-1038 ☎645-1127

持ってて安心「緊急時連絡カード」

緊急連絡先やかかりつけ医などを記入する「緊急時連絡カード」=写真=を配布しています。外出先での事故や急病時など、万が一に備えて持っておきませんか。カードは区社協事務所の窓口で配布するほか、郵送も行っていきます。希望者は問い合わせ先へ。☎区社協事務所(東保健所内) ☎643-8922 ☎643-8923



「養育里親」を募集しています

市は、一時的に保護が必要になった乳幼児を自宅で養育する「養育里親」を募集しています。



イメージ写真

保護者の病気や経済的な困窮、虐待などで急な保護が必要となる乳幼児は福岡市で毎年100人を超え、養育里親の数が不足しています。乳幼児の心身の成長には、たとえ数日であっても、特定の養育者と温かい家庭で生活することが大切です。

養育の期間は数日から数カ月程度で、特別な資格は必要ありません。また、子どもに必要な生活費や手当は支給されます。

詳しくは、市の委託事業者のNPO法人キアセット福岡オフィス(☎406-6351)までお問い合わせください。同オフィスのホームページ(「キアセット」で検索)から問い合わせることもできます。

東体育館「ヨガ教室」

ヨガの基本動作を学びます。☎10月22日~12月10日の金曜日午後1時15分~2時45分。全8回☎40歳以上☓抽選20人料6,000円☚往復はがきに、教室名・参加者の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入して、問い合わせ先へ。9月15日(水)必着。☎東体育館(〒813-0003香住ヶ丘一丁目12-2) ☎672-0301 ☎672-0302



和白公民館で総合健診を受けよう

和白公民館(和白三丁目)で、よかドック(特定健診)とがん検診を行います。☎11月2日(火)午前9時半~11時半☎☎下表の通り。来年3月31日までに40歳または50歳になる人はよかドックが無料。満70歳以上と市民税非課税世帯の人などは料金免除(証明書が必要)☚10月19日(火)までに電話で予約センター(☎0120-985-902平日午前9時~午後5時)へ。



健(検)診名	対象	料金
①よかドック(特定健診)	40~74歳の市国民健康保険被保険者	500円
②胃がん	40~69歳	600円
③大腸がん	40歳以上	500円
④子宮頸(けい)がん	20歳以上の女性	400円
⑤乳がん	40~49歳の女性 50歳以上の女性	1,300円 1,000円
⑥肺がん	40~64歳	500円
⑦結核・肺がん	65歳以上	無料
⑧胃がんリスク	35・40歳	1,000円

※①は健康保険証と受診券を持参。④⑤は2年度に1回受診可。⑥⑦は喫煙者など一定の条件に該当する50歳以上で、喀痰(かたん)細胞診検査希望者は別途700円必要。☎区健康課 ☎645-1078 ☎651-3844

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教室等が中止になる場合があります。事前に各問い合わせ先にご確認ください。※掲載している情報は8月18日時点のものです。